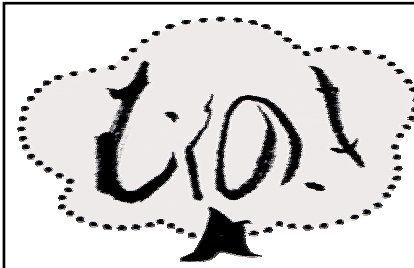


品川区立城南中学校
同窓会会報
第6号 2004年10月1日
東京都品川区北品川3-9-30
城南中学校内
03(3474)2671



【表紙の写真】

一度は登った事が有る品川神社の富士山から見下ろした北馬場駅方面です。今は新馬場駅となり、天王洲には大きなビルが立ち並び、東京湾も見えなくなりましたが、品川の富士山から下界を見下ろしていると、子供の頃の素直な気持ちになるのは私だけです。皆さんも一度登って深呼吸でもしてみてください。



昭和34年頃の北馬場駅を品川神社から見た風景



現在の新馬場駅を品川神社から見た風景

役員改選にあたって

会長 佐藤 高(五期生)



会員の皆様には益々活躍の機会と拝察致します。本年は同窓会役員改選の年でした。

平成十年十二月に新しい組織が発足してから五年半。役員の方には同窓会の組織作りのために会員名簿の整備、同窓会報の発行、維持年会費など、さまざまな面で協力していただきました。ありがとうございました。お陰さまで同窓会の一応の基礎が出来たと思っております。役員改選にあたって、母校と同窓会をさらに発展させるために、会長には若い方になっていただき、役員も一新して若い世代の方々にがんばっていただくことと考えておりました。しかし残念ながら、なかなか会長を引き受けてくださる方がありませんでした。結局、皆さんの熱い要望に負けて、もう一期、会長をお引き受けることになってしまいました。もう私も歳です(五年やりますと七十歳です)ので固辞したのですが、同窓会の存続のためには誰かがやらなければなりません。力不足ですがもう一期がんばってみることにいたしました。

新役員には従来からの役員の一部の方に残っていただき、若い世代の方にも役員になっていただきました。これからの五年間、新しいスタッフで同窓会を運営してまいります。これまで以上に、会員の皆様のご協力を御願いたします。

新 副会長になって

副会長 加藤 昭(十四期生)



本年度役員改選により副会長の重責を仰せつかりました。十四期の加藤 昭でございます。私

は、城南中時代の思い出と当時の友人達は私の財産であり一生懸命に持ち続けていたと思っておりますので、同窓会のお手伝いをさせていただきます。会則に「副会長は会長を補佐し...」とあるように会長の苦言等を代行して悪役になる時もあるでしょうが、同窓会運営に徹して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新 副会長になって

副会長 田村美沙子(十三期生)



第二期同窓会の船出にあたり、佐藤新会長から副会長就任の要請があったのですが、その様

な大任が務まる筈もなくお返事に窮してしまいました。そんな中、草創期から一緒に会運営に携わって来た皆さんから暖かいご声援を戴き、清水の舞台から飛び降りる様な心境で副会長をお引き受け致しました。私の唯一の取得は明るく座を保つ事で佐藤会長の下、同窓会運

嘗の潤滑油になろうと思ひます。どうか皆さん、この旨お汲み取りの上ご協力下さいます様お願い申し上げます。

最近の品川周辺の歴史と文化

今回で四回目となりました品川付近の歴史についてみましました。

「品川周辺周辺の今昔」

浮世絵の葛飾北斎や歌川広重の描いた品川の風景には、必ずといっていいほど海が描かれています。現在の旧東海道からは海は遠くなり、また、当時の海とは全く違う海となり、その面影すらありません。私の子供の頃までは、まだ海は近く親しい存在でした。話は品川と海と離れませんが、中世までその歴史をさかのぼってみたいと思います。

小田原の後北条(ごほうじょう)氏が江戸城を上杉氏から奪うと、その勢力は品川にも及び十六世紀半には北条氏の品川支配が確立します。このように、その時代の有力者が品川区域を支配下に置いた理由のひとつは、品川湊が江戸内湾(東京湾)有数の湊であったためだと考えられます。品川湊は東海道が目黒川を渡る付近にあり、紀伊半島や東海地方から太平洋を渡ってくる航路と旧利根川水系、常陸川水系を通つて銚子沖から東北地方にも通じる航路を結ぶ重要な場所に位置する湊でした。また、十五世紀半頃には鈴木道胤のような海運業者も現れ、各宗派の寺院も相次いで建立されるなど、品川湊は港湾都市として繁栄しました。江戸時代の品川宿の骨格はこの時期に出来上がったとあります。



昭和30年頃の旧目黒川(左側が北浜、右側が洲崎)

この時期、湊に陸揚げされた品物は問(とい)と呼ばれ、運送・保管・委託販売などを請け負う商人(問丸)が取り扱い、当時品川湊には少なくとも三軒の問丸があり、三人が経営していたのが問屋(といや)です。(注：江戸時代の問屋場は宿場の役所であり問屋は宿場の長(役人)です。)さて、品川宿は目黒川を境にして、北品川宿と南品川宿に分かれますが、昔の目黒川は在原神社の北側を通り、そのすぐ先を直角に北へ向かって流れていました。これが今の八ツ山通りで、北品川橋の

今の船だまりあたりが目黒川の河口でした。この目黒川の海側にある目黒川が運んだ土砂の堆積した半島のような処が以前、洲崎と呼ばれた地域で南品川獵師町です。その先端に築造された新開場(埋立地)が利田新地と呼ばれており、弁天堂が祀られていました。これは洲崎弁天とも呼ばれ、明治になって利田神社となり、祭神も変わりました。獵師町の鎮守、寄木神社は江戸時代寄木明神社と呼ばれ、もと南品川三丁目にあったのですが一六五五年(明暦元年)の獵師町の移転にもない、現在地に祀られました。境内入り口にある「江戸漁業根源の碑」には、神社建立の由来と江戸時代江戸城に鮮魚を納める「御菜肴八ヶ浦」(おさいさかな)の総元締めとして、また海苔養殖の本場として栄えた品川浦の歴史が記されています。品川地域には品川浦と御林浦(おはやし)の二つの純漁村があり、御菜肴八ヶ浦のひとつとして鮮魚を幕府に献上する義務を負っていました。魚獲物の一部は將軍家に献じたり、地元朝市などで販売したりしていましたが、大部分は金に売って売ればかかれていました。南品川獵師町と大井御林町の漁師の獲った魚貝類は南品川一丁目往還通り、品川宿の境橋の辺りで開かれた毎朝市で販売されていま

した。今の品川橋が江戸時代には境橋と呼ばれていたのです。昔の品川の海では、季節になると品川・芝浦・洲崎等で潮干狩りが盛んに行われ、また、釣りや船遊びの行楽の地でもありました。当時を偲んで、北品川橋の近くの船宿から屋形船で品川沖の海へクラス会等は如何ですか。

顧問 一期生 吉野明

品川 今昔も昔も...

この記事をお読みになられていらっしゃる皆様は、城南中学校を何期で卒業されましたでしょうか？ その頃の品川は如何でしたか？ クラス会等で盛り上がる当時の懐かしい思い出話といえ、何と云ってても、お祭りや、当時流行った遊び、駄菓子屋の話ではないでしょうか？ 皆様が中学生当時は何件くらい駄菓子屋さんがありましたでしょうか？ ちょっと自分達二十八期卒業生の頃は、東品川にあった長命湯の近くの駄菓子屋さん、北品川一丁目(通称)レストラン近藤、裏町の「細川さん」、北品川二丁目に法禅寺近くの「末木さん(ポーン菓子・ハントの豆を売っていた店)」、虚空蔵横丁の「カナリヤ」、羽鳥の「店、聖蹟公園前の



駄菓子屋「羽鳥の店」

海道品川宿周辺まちづくり協議会の運営で開店しました。おかげで今は毎日たくさんの子供達が来店し、



駄菓子屋「またあした」

「藤田さん」南品川三岳の「稲垣商店」と、もう一軒三岳にあったと思えます。その他にも駄菓子屋ではないけれど、おもちゃを売っている北馬場の「飛田商店(通称ジジババ)」、「折毛商店(通称ちようちんや)」、北品川二丁目「中島玩具」南品川後路地の「中田模型(通称ナカモケ)」等々もあり、こんな所が行動範囲だったかなあ、と記憶しています。しかし、これだけのお店を列挙させていただきますが、その頃からのお店で現在残っているのは、残念ながら「稲垣商店」のみとなりました。まいりました。「稲垣商店」の女将さんの話によりまずと、驚くことにもう少しで、一〇〇周年を迎えるそうです。そんな駄菓子屋も少なくなつてしまった品川ではありませんが、今年の二月十一日、子供達をまちぐるみで育てよう!というコンセプトで、品海公園前の新宿お休み処を改装し、まちの新しい駄菓子屋「またあした」が、まちの有志でなる旧東

ひと頃テレビゲーム等で家に籠もつていたのか、静かだったまちも、子供姿を多く見かけるようになり、活気も戻ってきました。最近、昔ながらの建物も取り壊されることが多く、皆さんが城南中に通われた頃は風景も大分違うかもしれませんが、今でも品川は(品川の住人達は)昔ながらの気質を受け継ぎながら、元気に暮らしています。現在品川宿周辺には、一月の初詣にはじまり、二月の節分、三月の千駄荒神春の大祭、四月の虚空蔵尊春の大祭、六月の品川神社例大祭(北の天王祭)、七、八月の夏祭りや盆踊り、九月のしながわ宿場まつり、十月の天妙國寺御会式、十一月の酉の市、虚空蔵尊秋の大祭、秋の大神祭、秋の大祭、秋の大祭、一年をたたく歳時記を残り、多くのイベントが行われており、今年には是非ともそんな機会に品川へおいでいただけたら、と思いを懐かしい友人や懐かしい近所のおじさん、おばさん、そんな品川の子供達が温かく迎えてくれますよ。

二十八期生 大越章光



しながわ宿場まつり

昭和40年頃の駄菓子屋マップ (大越章光 作)



懐かしの先生はパート

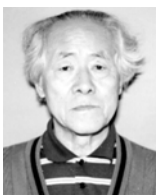
あの先生はどうしているかな? をテーマに今の先生の近況をお聞きしました。

黒木 吳先生



元氣です。還暦を過ぎて十九歳。二巡目の青春を謳歌しています。剣道は週三回、練伸館道場師範、東京・全国高齢者剣道大会に出ています。マススターズ陸上大会に国内・国際大会に出場。砲丸投げは国内大会で優勝。一〇メートルの七十九歳の公認記録十七秒八九。八十歳で更新しています。書道は日本教育書道連盟師範、号は景雲です。

秋葉健三先生



暑さには殊の外弱いので、この夏は耐えがたい日々でした。この地にすみついて既に四十五年、相当に伸びた庭木の手入れや寿命の来た家屋の修理等今やらねばと思いたち、弱った足腰に鞭打っています。早朝には欠かすことなく、愛犬二匹とまだ自然の残る丘陵を散歩し、今時は栗、銀杏、茗荷採りを楽しんでいます。

私が城南中にいたのは昭和二十五年春から五年とちよつとです。ですから一期生から五期生までしか知りません。もうみんな六十

代です。私も七十七歳になります。元気でいますが少しボケがきまします。本を読むことに車に乗ることが楽しみです。先日も蔵王から気仙沼へ行って来ました。

秋葉怜子先生



「喜寿」を迎える歳になりました。月日の経つのが早く、一日を大切に過ごしたいと思つこの頃です。家事全般現役。手芸、観劇、旅行と時間を無駄なく使い、友人、知人と楽しく過ごす事はしばしばです。これも家族が皆健康に過ごしているおかげと感謝しています。

遠藤 先生



私も七十五になり、訓練校の講師も終わり毎日何かしないといけないと言われパソコンを買ったのですが面倒だめ。先日小学校の時の友人と旅行に行つたのです。帰つた翌日ぐたびれて寝ていたのは私だけ、ごろごろしている体力が弱ると分かつているのですが、病気のせいにして毎日

シリーズで昔お世話になつた先生方の紹介をして行きたいと考えていますので、先生方の近況を知りたい方は、振込用紙の通信欄に「先生方の近況をお知らせ下さい」と、お書き下さい。

同期会便り

「ジエツト・コスターの半生」六月十二日、港区・芝パークホテル内の中華料理店「北京」に於て、第十三期同期会が開催されました。安藤先生、尾崎先生、小俣先生、南山先生をお迎えし、総勢三十二名



で今年も大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。また、「北京」では、普段お目にかかれないような高級食材の料理がならび、味もとても美味しいとの評判でした。

同期会で皆が集まると、何も言わずとも共有できる同志的感情がわきます。私達は、昭和二十二年、二十三年のペビーブームの頂点に生まれた団塊の世代です。戦後を色濃く残す幼年時代から非情な競争社会に生き、高度成長を支える手足となつて働いてきました。その後、バブル崩壊を経験。まるで、ジエツト・コスターに乗っているような半生だつたように思っています。

六十歳まで、あと数年を残すばかりとなつた今、同期生の方々のお話には、心染み入るものがあります。今年、特に、厳しい修行を経て僧侶になつた方や、この年で難しい楽器を一から習い始めた方のお話が印象深く、私達も励まされました。そして、何よりも、諸先生方のお話はいくつになつても有り難く、今後の人生を歩んで行く上で大きな道標ともなる御示唆を与えていただきました。私達の少年少女時代を知っている先生方の前では、心を裸にすることが出来ます。いつまでもお元気で私達を見守つて頂きたいと願つてやみません。

来年も、少年少女にかえつて又お会いしましょう。皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。十三期生 香川誉夫



「卒業五十周年を祝う」
 四期生が記念同期会、
 今年の春、四期生が昭和二十九
 (一九五四)年に城南中学を卒業し
 て以来五十周年を迎えました。
 四月十七日の午後、新馬場駅前
 の六行会ビル八階、荏川倶楽部で開催
 された記念同期会には、約六十名が
 元気な顔を揃えました。

「城南中ツアー」

同期会の前に行われた「五十年ぶ
 りに母校を訪ねる城南中ツアー」に
 は三十五名が参加しました。昔の木
 造校舎の面影は消え去っていたも
 のの、校内の「歴史館」に保存され
 ている当時の写真や文集「道程」に
 過ぎ去った少年・少女時代が甦り、
 休日にも拘わらず案内をして下さ
 った教頭の吉村先生に、多くの参加
 者が文集のページのコピーをお願
 いしていました。

「黙祷、そして歓談・獅子舞」

小学校入学の年に終戦を迎え、中
 学を卒業して半世紀。既に二十余名
 の友が既にこの世を去っています。
 開会に先立って、全員で黙祷し冥福
 を祈りました。

北品川一帯を見下ろす会場では、
 お互いの健在を喜び合い、談笑が盛
 り上がる中、品川拍子保存笛睦会の
 若々しい面々によるお囃子が始ま
 り、また同窓会の佐藤会長扮する獅
 子舞の熱演に、一同遠い昔の品川神
 社のお祭りの賑わいを懐かしく想
 い出していました。

「同窓会に寄付金贈呈」

この記念同期会の会費の一部を
 同窓会の運営費の一助として寄付
 することに衆議一決し、佐藤会長に
 託されました。

特別にご参加いただいた遠藤・佐
 藤・黒木の三先生からは、それぞれ
 老人一年生に対しての熱烈な励まし
 の言葉をいただき、再会を楽しみ
 に散会となりました。

四期生 鎌田俊夫

平成十五年度
 維持会費納入者一覽
 (H15.7.1 ~ 16.6.30)
 敬称略

先生方

- 近藤賢一
- 黒木 昊
- 三森久夫
- 落合寿美子
- 清水一夫
- 秋葉健三
- 田丸 道
- 鈴木 勉

一期生

- 長谷川 悦
- 鈴木正枝
- 館川直樹
- 万石ひさ子
- 菅原孝一
- 遠藤 明正
- 吉野

二期生

- 布川加子
- 片桐美津子
- 河田昌子

三期生

- 小野紘一
- 小橋京子
- 齋藤貞良
- 緑川恵子
- 斉藤昭信
- 渡辺信之
- 榎本房江
- 井上佐登子
- 村下三津子
- 上田正市
- 滝口尚孝
- 飯田温子
- 水谷壽美代
- 野澤修三
- 金田英子
- 山口寿子
- 山口良子
- 福田尚彦
- 星野尚彦
- 野村武仁
- 那須嬉子
- 吉野和子
- 小林昌子
- 熊谷秀雄
- 石垣才子
- 伊澤才子
- 藤江登志子

四期生

- 高杉俊行
- 高橋 宏
- 松崎妙子
- 渡辺雅美
- 桃井弘子
- 前田耕司
- 中村幸子
- 山之内佐千子
- 鈴木伸太郎
- 田中由美子
- 永嶋弘子
- 松井賢一

五期生

- 山岸博子
- 金子正秀
- 佐々木喜子
- 篠澤利郎
- 皆川辰雄
- 黒畑佳秀
- 山下洵一郎
- 中治ソノ子
- 市川 碩
- 市崎美千子
- 宮前千恵子
- 大森郁子
- 高梨ユキ子
- 高橋美智子
- 浦井伎佐子
- 松田多恵子
- 大澤昭一郎
- 山上暉子
- 村内正行
- 有坂敦子
- 柿沼久子
- 浜井和美
- 佐藤 高
- 名鏡 勝
- 尾崎直人
- 水島通成
- 富井修身
- 上野陽子
- 千島三男
- 青木美栄古
- 関 留里子
- 大貫節子
- 桃井敦子
- 野崎恵美子

六期生

- 武井重雄
- 小松庸祐
- 永野紀子
- 齋藤隆則
- 滝口知子
- 青島美代子
- 多田晴江
- 相川 明
- 篠沢芳正
- 矢野きみ子
- 殿井宏志
- 今井唯夫
- 齊藤紀雄
- 福本栄子
- 武田洋子
- 竹内敏機
- 石川千衣子
- 関野たみ江
- 村上寿々子
- 石丸美代子
- 友并由起子
- 鈴木悠喜雄
- 渡辺佐伎子

七期生

- 安重 務
- 八田美代子
- 穴穂 香代子
- 卒業五十周年記念同期会
有志(代表 鎌田俊夫様)より
三万円の寄付がありました。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|----------------------|---|--|---|--------------|--|--|--|---|--|--|--|---|-------------------------------|---------------|---------------|---------------------------------------|---------------|----------------------|--|--|
| 九期生
中村吉宏
佐藤良明
渡辺美恵子 | 十期生
伊藤康子
水野勝洋
瀬戸和子
上林和恵
引野国江
嶋本典夫
安田慶子 | 十一期生
村田静子
北山 栄 | 十二期生
津止義人
小保方忠好
ウエルタインバー
渡邊欣雄
小澤純理 | 十三期生
高橋久美子
宇田川夏子
広橋修三
寺本民生
谷口豊子
植村博明 | 十四期生
牛久泰治
小竹幸子
岡村和子
小柴誠一
須賀啓子
新井治賀子
森 好太郎
吉田佐代子
辻 英俊
斎藤典子
加藤 昭 | 十六期生
嘉山 清 | 十七期生
杉下邦彦
江尻英治
堀内邦夫
後藤みどり
秋元隆一
小林芳枝
渡邊良枝
山下純子
廣瀬昭博
星 伸江
塚田和弘
中島博行
小野村弘恵 | 十八期生
岡 義隆
笠 敦子
峰村 浩
新野和子
岡田敏雄
鶴田政純
木庭勝代 | 十九期生
峯村 浩
新野和子
岡田敏雄
鶴田政純
木庭勝代 | 二十期生
廣瀬昭博
星 伸江
塚田和弘
中島博行
小野村弘恵 | 二十一期生
廣瀬昭博
星 伸江
塚田和弘
中島博行
小野村弘恵 | 二十二期生
石渡洋一
三澤則子
安田庸恵
石井スミ子 | 二十三期生
曾根正好
宮原和子
山口正和
野呂次男
春日井利明 | 二十四期生
岡 義隆
川瀬由紀子
川瀬正紀
広嶋繁雄
鷺山美江子
樋口京一
田中スミ江
小森 一夫
齋藤秀子
廣瀬知映子
岩崎なおみ | 二十五期生
栗林達也
宮田 猛
石田秀男 | 二十六期生
橋本哲哉 | 二十七期生
茨木和子 | 二十八期生
渡邊純子
市川明德
宮上和人
鈴木 紅 | 二十九期生
鈴木 紅 | 三十期生
島 岳史
大越 誠 | 三十一期生
溝口晶子
三十四期生
佐藤友治
漆 高広
青木基実
三十九期生
河合康二郎 | 法月英雄
鈴木邦彦
梅田文江
佐野正己
田口貴子
深津 稔
渡辺豊治
引野誠一
西山美智恵
安藤弘哲
上條 晃
駒瀬勝啓
西山隆信
石井敬一郎
井桁鳳雄
桑原利恵
石井敬一郎
大越章光
岡田峰春
北村美奈子
若林 清 |
|------------------------------|---|----------------------|---|--|---|--------------|--|--|--|---|--|--|--|---|-------------------------------|---------------|---------------|---------------------------------------|---------------|----------------------|--|--|

**同窓会維持会費
納入のお願い!**

本会報をお読みになり同窓会活動にご理解下さる方は、年間一口千円(口数は自由です)を、同封致しました振込用紙にて、ご入金いただければ幸いです。

同窓会報も会員の様々な努力により六号を発刊する事が出来ましたが、学校行事の寄付金や会報作成費・発送代など同窓会運営にかなりの経費がかかります。

この経費は同窓生一人一人の寄付金により運営され、現在一期、四十期の方にこの会報をお届けしていませんが、残る四十一期から五十三期の卒業生全員にも会報誌をお届けしたいと考えております。その為には、一人でも多くの維持会費の御協力をお願いする次第です。

御協力有難うございました。

会員からの伝言板

昭和六十年から平成二年度の六年間勤務していました。改姓して鈴木より田丸に変わりました。
田丸(鈴木)勉 先生

皆さんお元気ですか。私はウオークで関西を楽しんでいます。今が勉強です。品川が変わりました。九月に上京致しました。懐かしいです。
三期生 井上(鳶崎)佐登子

五期生の山下洵一郎さんが演劇の方で頑張っているらしいやうな様子を伺い、とても嬉しく思います。いたずらだったあの子かと、懐かしくあの顔が目に見えかびます。これからよろしく!
三期生 山口(木島)寿子

四期生の皆様へお知らせします。平成十六年四月には我々が中学を卒業して五十年を迎えた節目の記念同期会が鎌田君、他幹事さんで行われる予定です。

そして平成十七年九月、十月頃には田中君、他幹事で旅行会の話が進められています。湯たつぷり美味しく、「ノンビリ」をモットー

に五十年前に戻り皆様二度目の修学旅行へ是非参加して見ませんか。同期会、旅行会へと参加すれば、またまた素晴らしい青春がよみがえると思います。宜しく。

四期生 高橋 宏

会報の中に同期の名前を見つくと中学生の時の顔が浮かびます。

十四期生 小竹(内田)幸子
運動会の今昔、権現山風景とても懐かしく四十九年前を思い出しています。今品川はスポーツライオンをあびています。母校の益々の御発展を心からお祈りしています。

六期生 涌井(鹿野)伎佐子

同窓会会報喜ばしく拝見しております。皆様からのお便り懐かしく「我が中学校時代」に思いを馳せております。会報の中で1期生の吉野先輩の「最近の品川周辺の歴史と文化」大変勉強になりました。そして現在「高村 規」氏の指導で主人は写真のサークルに入っております。

三期生 那須(加々美)嬉子

会報五号では現役教諭からのご報告があり、興味深く読みました。次々と進められる改革。親たちの厳しい目。先生方も大変なご苦労と思えます。同窓会にしか話せない

い悩みや本音を聞かせて欲しい。母校の発展のため全力で応援したい。

三十九期生 河合康二郎

大熊先生ご冥福をお祈り申し上げます。先生のご指導で都立雪ヶ谷高校に進学ができ、その雪ヶ谷が今夏東京の代表校として甲子園に出場しました。大熊先生は人の恩人です。

四期生 安重 務

会報楽しみに読んでいます。最近学校近くの品川駅周辺がめざましい発展をし、色々な意味で変化が激しいのではと思います。むくのき会報にこんな場所、今、昔と言う様な内容で取り上げて、写真などを載せてくださると嬉しいです。

十四期生 岡村(松本)和子

第五号の会報を見て井口先生、大熊先生の御逝去を知り愕然としました。井口先生にはペン画に似た様なマツチの軸に墨をつけて絵を描く事を御指導して頂き、大熊先生には社会科の授業で地図を指す長い竹棒で頭を叩かれたりと、私にとつて思い出のつきない両先生でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

五期生 金子正秀

新幹線や山手線から母校の校舎を見るたびに中学時代が懐かしく思い出されます。

九期生 中村吉宏

今回の会報の中に懐かしい名前を見つけました。同じ十一期の渡来利子さんの名前です。トライ、トライとニックネームで呼んでいました。元氣そうですね。

十一期生 北山(池田) 栄

昨年十一月に定年退職しました。十月から一ヶ月間妹の家に泊まり、あちら、こちらと行き、私の実家があった所を回り懐かしかったり、又変わって分らない所、驚いたり、嬉しかったりと、びっくりでした。

九期生 長友(鈴木)雅子

女性の維持会費納入者は旧姓も記載願います。

十期生 岡田敏雄

同窓会報の編集よりこの伝言板は振込用紙のコメント欄をピクアアップしている為、会員からの伝言内容に時期のずれが生じている場合があります。ご了承下さい。また、維持会費を納めて頂いた方の旧姓も記載したいのですが、紙面の関係係上旧姓につきましても省略させていただきます。ご理解をお願い致します。

役員改選が平成 16 年 7 月 18 日に行われ、次の様に決まりましたのでご紹介致します。

- 名誉会長：高垣 潤(現 城南中学校校長)
- 会長：佐藤 高(5 期生)
- 副会長：田村美沙子(13 期生)、加藤 昭(14 期生)
- 会計：木庭勝代(10 期生)、鳥居久子(34 期生)
- 会計監事：星野尚彦(3 期生)、渡辺雅美(4 期生)
- 書記：三澤則子(22 期生)、五野上和江(25 期生)
- 組織担当：中島博行(21 期生)、引野誠一(21 期生)、石井敬一郎(22 期生)、相原讓司(23 期生)、宮上和人(28 期生)、市川明德(28 期生)、大越 誠(30 期生)
- 顧問：吉野 明(1 期生)

平成十五年
平成一六年度
事業計画・予算案
会計報告・事業報告

平成15年度活動報告

・城南中文化祭出席	平成15年 月 日
・同窓会報編集会議	平成15年8月24日、9月30日
・同窓会報 第5号発行	平成15年10月12日
・PTA新年会出席	平成16年1月14日
・品川小学校開校130周年記念式典参列	平成16年2月7日
・新会員(卒業生)入会説明会	平成16年3月17日
・卒業式出席	平成16年3月19日
・入学式出席	平成16年4月7日
・PTA歓送迎会出席	平成16年5月12日
・運動会出席	平成16年5月22日
・役員・幹事会開催	平成15年7月13日、7月18日 7月20日、10月3日

平成16年度活動計画

・同窓会報 第6号発行	平成16年10月
・PTA新年会	平成17年1月
・新会員(卒業生)入会説明会	平成17年3月
・卒業式、入学式、運動会等出席	平成17年3月～5月
・PTA歓送迎会	平成17年6月
・役員会、幹事会、編集会議開催	随時

平成16年度予算案

収入の部		
前年度繰越金		4,107,022
新会員入会金	平成17年卒業生 約102名	102,000
維持年会費		500,000
同窓会記念誌売上金	2500円×10冊	25,000
合計		4,734,022

支出の部

同窓会報作成費	5000部	100,000
通信費	80×4000通	320,000
行事参加費	卒業式、入学式、運動会等	40,000
組織活動費		10,000
役員・幹事会会議費		30,000
印刷代	封筒、振替用紙	50,000
事務消耗品費		10,000
コピー代		30,000
支払手数料	維持年会費	30,000
予備費		4,114,022
合計		4,734,022

平成15年度決算報告

平成16年6月30日現在

収入の部				
項目		予算額	決算額	増減
新会員入会金	平成16年卒業生 113名	130,000	113,000	-17,000
維持年会費	233口	500,000	564,500	64,500
記念誌売上代	2500円×9	25,000	22,500	-2,500
受取利息			640	640
前年度繰越金		3,919,495	3,919,495	0
合計		4,574,495	4,620,135	45,640

支出の部

項目		予算額	決算額	増減
同窓会報作成費	5000部	100,000	68,460	-31,540
通信費	80×4000通	320,000	292,148	-27,852
行事参加費	卒業式・入学式等	40,000	38,500	-1,500
組織活動費		10,000	0	-10,000
役員・幹事会会議費		30,000	6,774	-23,226
印刷代	封筒、振替用紙等	50,000	45,735	-4,265
事務消耗品費		10,000	0	-10,000
コピー代		20,000	30,786	10,786
支払手数料	維持年会費		16,090	16,090
雑費			14,620	14,620
予備費		3,994,495	0	-3,994,495
次年度繰越金			4,107,022	4,107,022
合計		4,574,495	4,620,135	45,640

次期繰越金内訳

さわやか信用金庫	普通預金	162,747	216,387	53,640
さわやか信用金庫	定期預金	2,000,000	2,000,000	0
北品川郵便局		1,756,010	1,871,820	115,810
現金		738	18,815	18,077
合計		3,919,495	4,107,022	187,527

上記のごとく収支相違無く決算致しましたので会員各位にご報告申し上げます。

平成16年7月18日

城南中学校同窓会会長
城南中学校同窓会会計

佐藤 高
木庭勝代
小林芳枝
田村美沙子

上記の収支決算監査の結果相違なきことを認めます。
城南中学校同窓会会計監査委員

星野尚彦
渡辺雅美

同窓会ホームページにあるアドレ

編集後記

この記念誌は同窓会五十周年という区切りに作成しました。城南中学校の創立当時の写真や五十一年の歴史が掲載されています。「ぜひ読んでみたい」「記念に欲しい」という方がいらっしやいましたら、郵便局の振込用紙に卒業年度「連絡先」をハッキリ明記の上、「五十周年記念誌希望」と通信欄に記入して、一冊二五〇〇円(送料込み)を振り込んで下さい。入金確認後記念誌をお届けします。



懐かしい記念の写真満載!

インターネット情報コーナー

城南中学校のホームページ
<http://www1.cts.ne.jp/~johnanjh>

同窓会のホームページ
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~hiki/jyounan/jyounan.htm>

- この会報の編集委員紹介
- 十四期 岩崎なおみ
 - 二十一期 中島博行、引野誠一
 - 二十二期 石井敬一郎
 - 二十八期 大越章光、市川明徳
 - 三十四期 岡田峰春、佐藤友治

スに身近な出来事や近況をメールにてご報告頂き、楽しい会報に仕上げたいと思います。また、振込用紙の通信欄を利用した「会員からの伝言板」に、多数の会員から楽しく又貴重な意見を頂き、大変心強い限りです。これからもより多くの方からの原稿をお待ちしております。